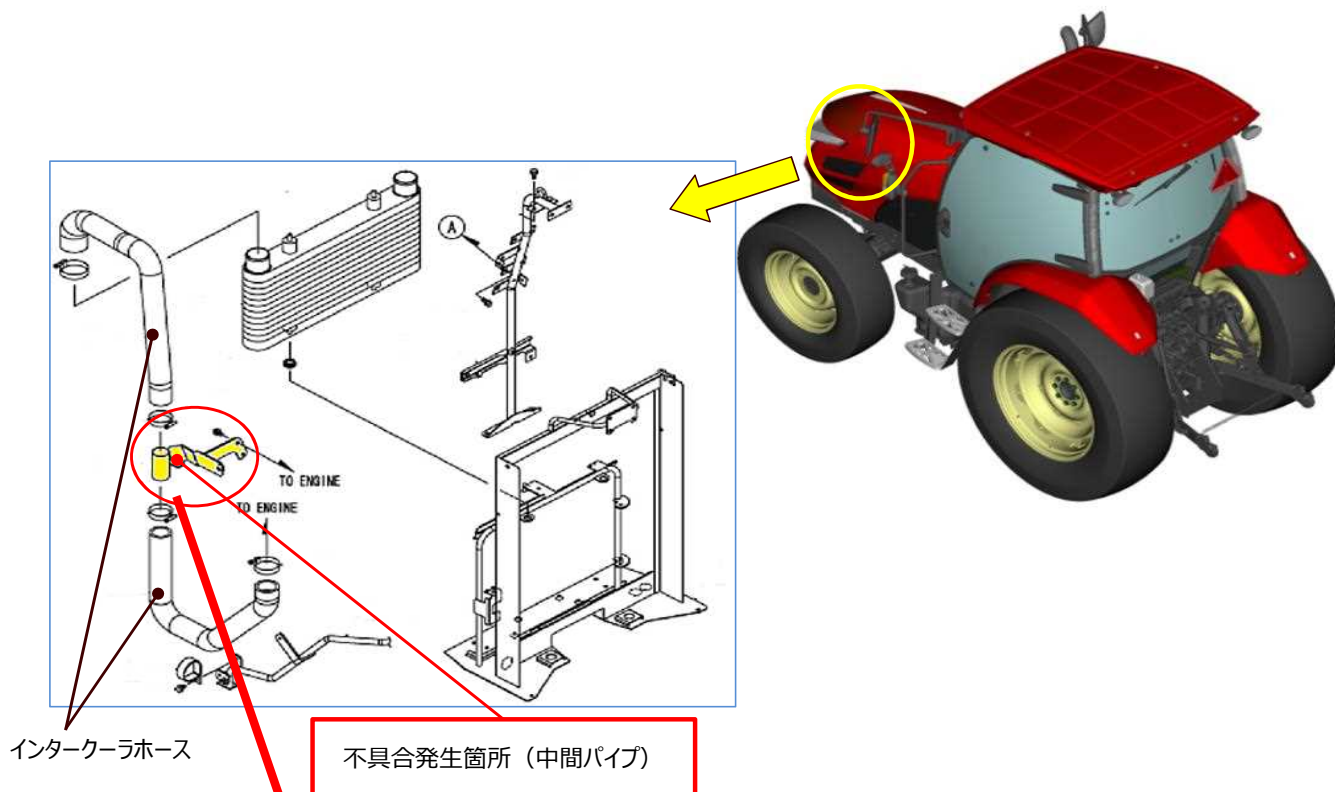
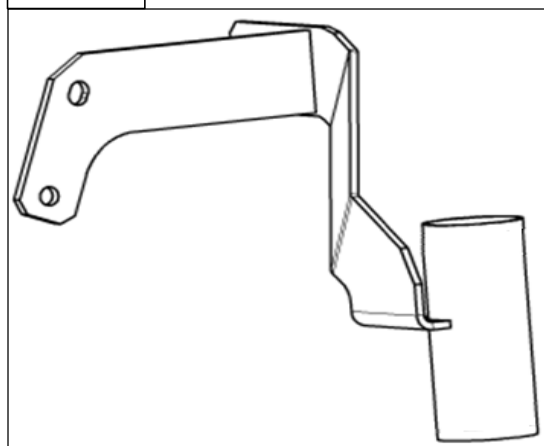


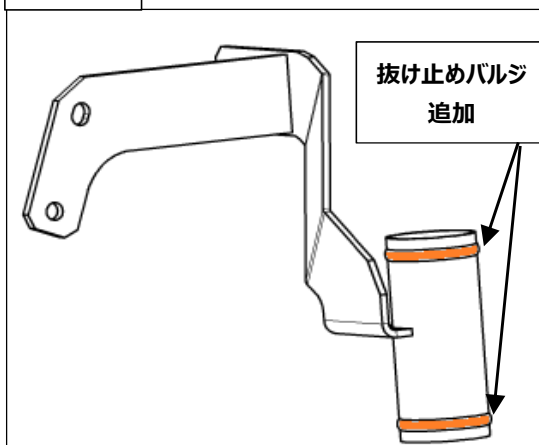
改善箇所説明図①



改善前



改善後



不具合発生箇所

過給器のインタークーラーにおいて、インタークーラーホースを繋ぐ中間パイプの設計が不適切なため、過給圧により当該ホースが抜けるものがある。そのため、ホースが抜けた箇所からエンジンオイルが飛散するとともに出力低下し、最悪の場合、火災となるおそれがある。

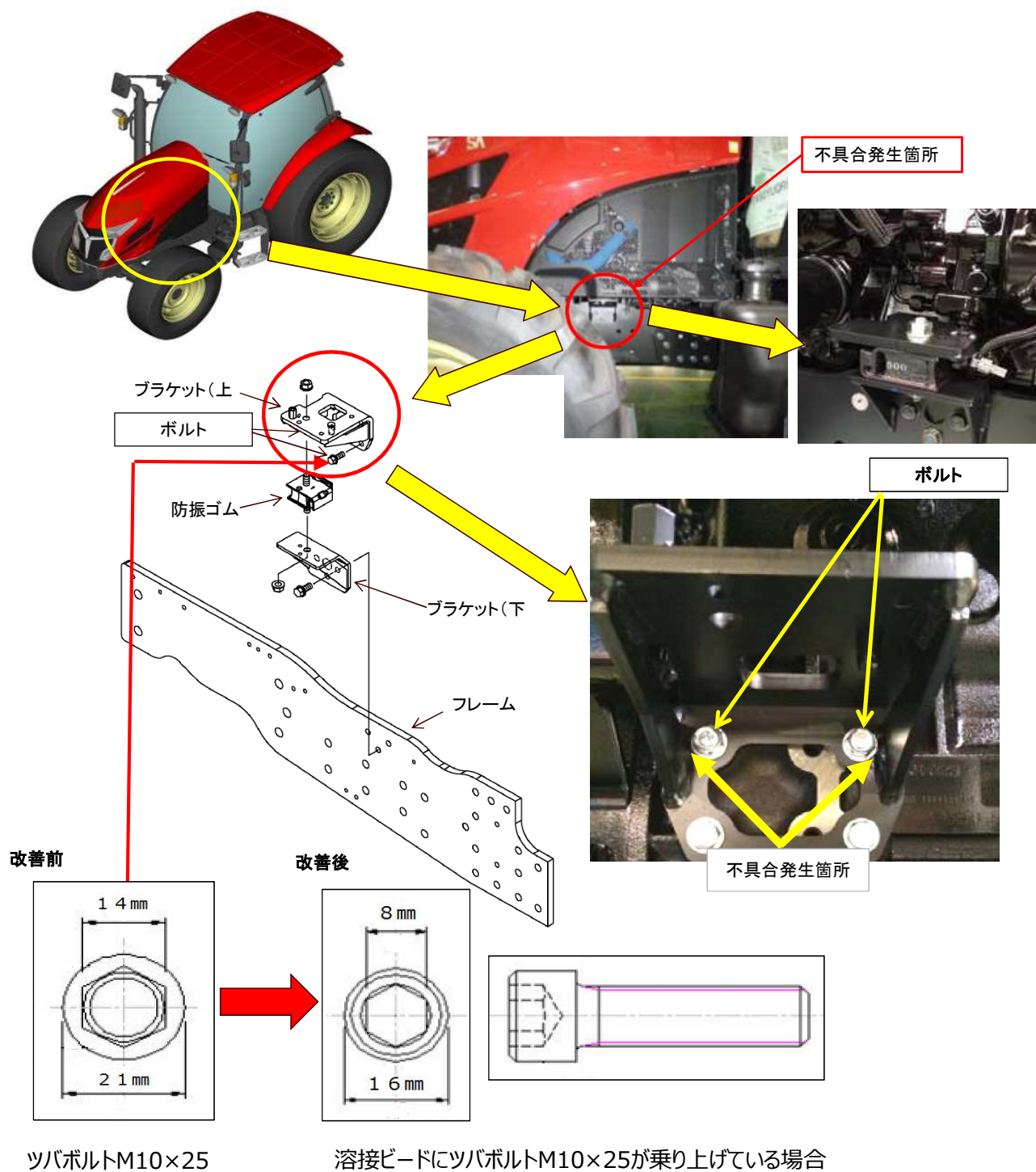
改善内容

全車両、中間パイプを対策品に交換する。

識別

インタークーラーホースの中間パイプの形状にて判断が可能。

改善箇所説明図②



不具合発生箇所

エンジンマウントのブラケットにおいて、当該ブラケットの溶接指示が不適切なため、溶接ビード(盛り上がった溶接痕)に固定ボルトが乗り上げているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エンジン振動により、当該ボルトが緩むおそれがある。

改善内容

全車両、ブラケット溶接部を確認し、固定ボルトが溶接ビードに乗り上げているものは、ボルトを対策品に交換する。

識別

ボルト頭(2本)を白ペンで塗り、識別する。